

Housenka Community Club since 2001.1.1

HCC TIMES

Vol.219
2021 9

https://sg-h.org



NPO法人 SG博友会
〒560-0085 豊中市上新田3丁目10番35号
TEL:06-6444-3030 FAX:06-6444-3552
編集元 H.C.C事務局 石倉慎也

第17回 R&D〈研究・開発〉発表会

8月4日(水)、5日(木)、10日(火)の3日間に渡り、第17回豊泉家R&D(研究開発)発表会ドメインディビジョン大会(以下R&D)を開催いたしました。

R&Dとは、個客の皆様へより高い品質の「個客感動サービス」の提供を目的とし、豊泉家グループ全フェローが新規サービスの開発や改善事項を挙げ、社内プレゼンテーションを行う発表会です。

一日目はMC(医療)ドメイン大会を開催し、患者様へのサービス向上の取り組みや新入フェローの教育等、全5チームが発表を行いました。

二日目はAC(介護)ドメイン大会を開催し、昨年度に書籍を出版された認知症ケアPJに基調講演を行なっていた後、日常業務の改善や役割毎に求められている役割等、全11チームが発表を行いました。総評では、社会福祉法人福祥福祉会 阿久根

賢一理事長より「私たちには生産性を高め、新しいことを創造することが求められており、日頃から『何に挑戦しなければならぬか』を考え、取り組んでいきたいと思います。」とメッセージをいただきました。

最終日はSF・SGディビジョン大会を開催し、昨年度の大賞に輝いたグリーンキャブス事業や、少量で栄養の摂れる食事の取り組み等、全6チームが発表を行いました。総評では、一般財団法人SF豊泉家谷田誠統合管理本部長より「豊泉家のサービスに関する研究を継続することで、

8月4日(水) MCDメイン大会の様子



8月5日(木) ACドメイン大会の様子



8月10日(火) SF・SGディビジョン大会の様子



豊泉家に関わる全ての人の幸せに繋げていきたいと思います。」とお言葉を頂戴いたしました。各大会終了後に厳正なる審査が行われ、「課題・目標設定力」「アイデア力」「表現力」「実現力」「感動力」などの評価基準を基に各ドメインでの総合的な審査を経て、グループ大会へ進むチームが選出されました。

【MC(医療)ドメイン】

- ハッピーローズ
- NST(栄養サポートチーム)
- AC(介護)ドメイン
- HOME LIFE株式会社
- HM会
- ケアハウス桃山台
- SF(SGディビジョン)
- SCM株式会社
- HAP株式会社 PCC
- HAC

【特別枠】

- 認知症ケアPJ (認知症ケア豊泉家メソッド)
- リハビリテーション科 (新型コロナウィルス重症患者の終末期ケアにおける取り組み)

以上、合計10チームが12月8日水に開催されるグループ大会において発表を行います。選出されたチームの皆様おめでとうございます。また、今回惜しくもグループ大会出場を逃してしまったチームの皆様にもあわせて称賛を贈ります。今後もより一層充実したサービス提供のために、このR&Dを継続してまいります。改めて、豊泉家に関わる皆様におかれましては、豊泉家グループの更なる飛躍に向けてご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

記者…山崎 和舞

参加チーム及びテーマ内容

ACドメイン	テーマ
基調講演: 認知症ケアPJ	「認知症ケア豊泉家メソッド」
①Cap会	「チームにおけるCapの役割と実践～真のリーダーとは～」
②Vcp会	「守りから攻めへ繋げるチームのリスクマネジメントの実践に向けて～Vcp会の挑戦～」
③T3会	「求められるT3像について」
④SW会	「SWのワーキングイン/バージョンについての検証」
⑤HOME LIFE株式会社	「HOME LIFEサービスの創造に向けての取り組み」
⑥HM会	「エイジレストレーニング～メソッドの確立に向けて～」
⑦アシステッドリビングホーム桃山台	「ALHサービスの実践と追求」
⑧ケアハウス桃山台	「ケアハウス豊泉家 桃山台の可能性～現状からの脱却～」
⑨ブルーWAVE	「ブランド確立から今後のサービスに向けて」
⑩コミュニティケアサービス 合同チーム(SCC・KCC・MCC)	「コミュニティケアサービスの展望について」
⑪チャレンジドCo	「豊泉家におけるチャレンジドサービスの追求」

MCDメイン	テーマ
①ハッピーローズ	「新卒看護師のローテーション研修の効果」
②スマイルローズ	「療養病棟における退院支援の取り組みと意識の変化」
③スカイローズ	「緩和ケア病棟で誕生日を迎える患者への関わり～祝い膳提供における効果と今後の課題～」
④リハビリテーション科	「当院の新型コロナ重症患者の終末期ケアにおけるコロナ病棟の取組みについて」
⑤NST(栄養サポートチーム)	「NSTにおける栄養補助食品と排便回数の相関について」

SF・SGディビジョン	テーマ
①株式会社豊泉家 物販レンタル事業部	「福祉用具で守る豊かな生活」
②SCM株式会社 施設管理事業部	「宮繕保険について」
③豊食株式会社	「オリジナルドレッシング・ソースの開発」
④HAP株式会社 PCC	「新予防けんしんの開発」
⑤育成部	「フェロー3000名の為の教育研修と交流」
⑥HAC	「CCRC豊泉家 芦屋山手におけるグリーンキャブス事業構築」



9月4日(土)は、豊泉家父の日です。豊泉家グループでは、5月22日を母の日、9月4日を父の日とし、感謝の想いを持つと共に今一度自分たちを見つめなおす大切な日として位置付けております。

この日は、豊泉家グループ創立の父である故安達孝専務理事が89年の天寿を全うされた御命日です。安達専務理事は大手企業の大要職を歴任されたのち豊泉家グループに入職、26年間グループ内の職務に留まらず幅広く社会福祉に貢献され、社会福祉法人福祥福祉会専務理事として「生涯現役」を貫かれたそのお姿は、豊泉家グループが信条とする「臨終年制度」そのものであり、後に続く私たちフェローの道標となるものであります。そして、この日は「豊泉家ユートピア構想」を実現すべく私たち豊泉家グループ全フェローがその御遺徳を偲び、御遺志を受け継ぎ、創立の福祉への想いを新たにする日でもあります。

豊泉家グループ同、更なるサービス向上を目指す為、心をつなごうといたします。

記者…森永 真衣

豊泉家父の日

イベント「七夕会」

HCC北緑丘

7月7日(水)、特別養護老人ホーム豊泉家 北緑丘2階機能訓練室、6階グリーンルームにて、コミュニティ共催行事「七夕会」を開催いたしました。

ご入居者の皆様全員が会場にお集まりになられたところを見計らって照明を消すと、目の前のスクリーンには綺麗な天の川の映像が映し出され、会場がプラネタリウムのような雰囲気になりました。天の川を彩る星々の解説や、七夕伝説について説明し、それをお聞きになったご入居者の皆様は星を眺めながらうっとりとしていらつしやいました。

星を眺められた後は皆様で「風船送り」をしました。風船には彦星と織姫のキャラクターがついており、離れ離れ



記者・高島 将吾

HCC桃山台

7月6日(火)、アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台4階ホールにて、7月8日(木)、ケアハウス豊泉家 桃山台6階コミュニティホールにて、コミュニティとの共催行事「七夕会」を開催いたしました。

今年の七夕会会場では、沢山の願い事が書かれた短冊で飾り付けされた笹の他に、七夕をイメージした壁画を飾り、七夕の雰囲気を演出いたしました。

アシステッドリビングホームでは、浴衣で着飾ったフェローによる音楽コンサートをお楽しみいただき、ケアハウスでは、七夕をモチーフにしたおやつをお召し上がりいただいた後、織姫と彦星に扮したフェローによる七夕劇をそれぞれ鑑



記者・原 慶彦

HCC桃山台

オフショインイベント「ハワイアンディナー」

8月10日(火)、アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台にて、8月オフショインイベント「ハワイアンディナー」を開催いたしました。

はじめにロコモコやガーリック シュリンプなど、食を通じてハワイを感じていただきました。そして、人気アクトビタの二つとなっており、観光名所めぐりのハワイバージョンを、ご覧いただきました。最後に、特製マンゴージュースを飲みながら、ゲスト講師によるウクレレの合奏に、歌やフラダンスも堪能いただきました。

「ハワイに行ったら時を忘れて、写真を撮ったわ!」と思いを懐かしむ方や「ウクレレの演奏を聴けて良かった!」と仰る方など、皆様にも楽しんでいただきました。これからも、皆様にご一緒いただけるようなイベントを企画してまいります。

記者・山本 有輝



HCC住之江

落語の会(心の栄養)



7月9日(金)、住之江コミュニティ1階コミュニティホールにて「落語の会」を開催いたしました。

今回は、桂壺之輔さんと月亭希遊さんにご出演いただきました。お二人には直前のPCR検査で陰性を確認させていただきました。高座と客席間にパーテーションを配置し、ご利用者との接触を極力減らし感染症対策を万全に行なうた上での開催となりました。

4ヶ月ぶりの「落語の会」でしたが、それ以上に、コロナ禍での画面越しのリモートではなく、目の前でパフォーマンスが行われる事への期待感もあり、開演前からご利用者の皆様のワクワクしたムードでホールは埋め尽くされておりました。

そして、いざ落語が始まりますと、参加者の表情は更に柔らかくなり、時々笑い声も上がるほどでした。「あー、面白かったー」「嬉しいねー」とのお言葉もいただき、改めて芸能文化、音楽美術や芸術が持つ癒しのチカラを感じました。これからも皆様にご心の栄養となるイベントやアクティビティを企画運営してまいります。

記者・大村 篤史

HCCチャレンジド

風鈴作成で夏の音色を♪



チャレンジドセンター豊中、箕面では7月度の工作クラブにて、夏にピッタリの「風鈴作り」を行いました。

陶器製の真っ白の風鈴に、色鉛筆やサインペン等で色を塗ったり好きなイラストを描いたり、中にはマスキングテープを使用しデコレーションされている方もいらつしやいました。

スイカやひまわりなどの夏らしいイラストや虹色にペイントしたりと、皆様それぞれオリジナリティ溢れるカラフルでかわいらしい風鈴が完成しました!

「可愛くできたー!」「すごく良い音色がする!」とお喜びの声もいただきました。世界にただけの風鈴が奏でる涼しげな音を耳で感じて、この暑い夏を涼しくお過ごしください。

記者・高崎 孝宜

HCC茨木

小さな七夕

7月8日(木)、ほうせんか病院4階フロアにて、七夕祭りを行いました。フェローとボランティアの皆様が笹を飾り、患者様やご家族、看護部フェローの皆様が書いてくださった短冊を飾りつけいたしました。

短冊には、「息子が無事合格できますように」や「孫たちが健やかに育ちますように」など見ていてほのぼのするようなものや、「病気がなおりますように」、「家に帰れますように」など、心にじんんと響くようなメッセージなどもたくさんありました。

小さな笹に短冊と浮き輪やビーチボールの飾りつけ、そしてかき氷やお菓子なども用意して、患者様の嬉しそうな表情を拝見し、フェローもボランティアも大変うれしく感謝の気持ちを込めてお祝いいたします。

ささやかなイベントではありますが、少しでも寛ぎの時間をお過ごしただけなのに、この想いを大切にしながら、楽しい時間をたくさんお過ごしただけのように、これからフェローとボランティアが協力しながら毎日活動を行なっています。

記者・山本 咲千代



キッズクラブ

水遊び

日差しが照りつける夏本番、暑い日が続く中、子どもたちが一番楽しみにしているのが水遊び。最初は水をちよつぱり怖がっていた子どもたちも、今ではすっかり慣れた様子で夢中で遊んでいます。

水遊びの準備が始まると帽子を被ってドアの前に飛んで行き、ちよんと座って早く早く!と待つ子どもたち。ジウロやペットボトルに水を入れ「ジャージャー」と手足にかけたり、カップで水をすくってこぼしたり、水鉄砲

の当てるように遊んでみたり。一人ひとりのペースで楽しんでいきます。水だけでなく、水や泡をつかった遊びも人気です。水あそびでは「つめたーい」と言いながら、お水の中で溶けていく水の固まりを何度も手に取ってみたり、泡あそびでは石鹸を泡立てて、ビニールプールが泡ぶくぶくに変身!「ふわふわ!」と泡を手に取り、カップに入れてフットクリムに見立てたり、泡の中で「ゴゴシ」「ギョッキョ」と、洗濯ごっこをしたり。

水や氷、泡の感触をたくさん楽しみ、夏ならではの活動を取り入れながら暑い夏を元気づけたい乗り切っています。

記者・原田 真理子



フェロークラブ慶年のお知らせ

社会福祉法人福祥福祉会 住之江コミュニティSCC 飯尾苑子(旧姓 松本)フェローが2021年4月13日(火)にご入籍されました。

1年4カ月の交際を経て、お互いの気持ちを確認し、大安吉日にゴールインされました。「二人ともマイペースですが、お互いに干渉しすぎない。注意するところは注意するけれども、やっぱり自分も相手も自然体でいられるところ」が結婚の決め手となったそうです。

新型コロナウイルス感染症がまん延し、新しい生活様式となつてからの交際開始となり、出かけられる場所には苦勞したそうです。そのような状況の中でもご主人の好きな水族館に行ったり、飯尾フェローの好きな寺社仏閣に行くなどお互いを尊重し合いながら愛を育まれたそうです。新型コロナウイルスが収束した際にはご家族との交流を始め、今まで制約のあったものなど、実現したいことがたくさんあると未来に向けた想いをお話いただきました。



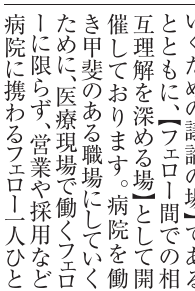
NEXT DOOR 豊泉家未来を創ろう会

7月16日(金)、アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台4階ホールでNEXT DOOR 第222回「NEXT DOOR」豊泉家未来を創ろう会(以下創ろう会)を開催いたしました。

通常の創ろう会は「トップダウン・ボトムアップの場」として、豊泉家グループの未来についてのディスカッションを中心に開催しておりますが、今回は形式を変更し各テーブルにて豊泉家グループのチラシを作成するグループワークを行いました。

各テーブルでどんなチラシにしようかと考える中で、豊泉家グループの好きなところや、発信していきたい内容をまとめた付箋やメモがテーブル一面に広げられており、参加者がどれだけ豊泉家グループに対して強い想いを持っているかが伝わってまいりました。「チラシとして、目で分かれるように書き出すことがとても難しく感じた」と参加者からコメントがあり、チラシを作成するためにどんなことを一番相手に伝えたいのかを考えること、地域での発信方法についての改め理解する機会となりました。

閉会后、参加者には開催回数である第222回の語呂合わせ「無事に」という願いを込め、残り半年間を無事に過ごしていただくことを祈る夏越の祓で食べられる「水無月」をお土産としてお持ち帰りいただきました。これからはより多くの



7月28日(水)、第24回NEXT DOOR 豊泉家未来を語ろう会(以下語ろう会)を開催いたしました。今回は発足から2周年の記念開催となり、参加者数は過去最多の15名と大いに賑わいました。

会の終盤に行われたクロストークでは、7名の初参加者を中心にはうせんが病院を良くするための提案を発表していただき、オプザーバー陣に「フェロー間で連携を高めていく方法」についての意見が多く挙がる中、チエマンである医療法人成和会 樋口昌克副理事長からは「CIS(Community-based AI Inclusive care System)地域包括ケアシステム

ム豊泉家モデル)実現のために豊泉家全体をシームレスにすることが大切です。人は本能的に人の悪いところばかりを見てしまうものですが、そのような人間の本質を知ることや繰り返しコミュニケーションをとる内に相手の見方が変わり、そこから相互理解を深めていくことで良いチームワークの構築につながります」とご教示いただきました。この度開催2周年を迎えた語ろう会は「2病院を良くしていくための議論の場」であるとともに、「フェロー間での相互理解を深める場」として開催しております。病院に働き甲斐のある職場にしたいために、医療現場で働くフェローに限らず、営業や採用など病院に携わるフェロー一人ひとりの声を必要としております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



記者・山崎 和舞

このバドミントンサークルは全フェローを対象にドメインを越えたつながりの構築、フェローの自立・自由度を育むことを目的とし、豊泉家フェローの主体性・自主性を支援する制度となります。現在はバドミントンを含め3サークルが活動しております。ご興味のある方は是非育成部までお問い合わせください。



記者・梅本 大地

バドミントンサークル

7月29日(木)、新型コロナウイルス感染症対策の下、南吹田体育館にてバドミントンサークルの活動が行われました。この活動はサークル支援制度を活用し、自立・自由度を高めるために、フェローが主体的に運営開催する活動となります。代表者である北山千晶フェロー、山本拓巳フェローを中心にA.C、M.C、S.F、S.Gから9名のフェローが集まりました。

本年度に活動を開始した本サークルのため、まだまだ初参加者も多く、まず自己紹介からスタートしました。その後、しっかりとした準備運動を行い、ミニゲームで汗を流しました。初心者、経験者を問わず、参加したフェロー皆で和気あいあいとラリー、バドミントンを通じ、ドメインを越えてフェローが交流できる機会となりました。

試合展開は豊泉家コムレイズ増田直記監督代理の指揮の下、前回大活躍したSCC森本峻平フェローを中心としたオーダー。「今回の試合へ向けて自主練習を行いました」という株式会社豊泉家所属の



記者・梅本 大地

豊泉家コムレイズ練習試合

7月30日(金)桃山台野球場で、豊泉家コムレイズの練習試合を開催いたしました。対戦相手は、ステークホルダーとして、豊泉家を支えてくださっている「石黒メディカル株式会社」の皆様です。豊中市野球選手権大会にて豊泉家コムレイズが勝ち残り、更なる調整が必要な中、平日の業務終わりに関わらず駆けつけてくださいました。

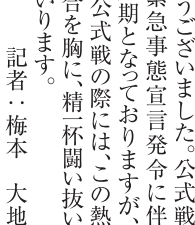
普段は週末に行われているコムレイズの活動ですが今回は金曜日の19時30分からのプレイボールとなりました。日中の夏の暑さも和らいだ快適な環境下での試合となりました。

試合展開は豊泉家コムレイズ増田直記監督代理の指揮の下、前回大活躍したSCC森本峻平フェローを中心としたオーダー。「今回の試合へ向けて自主練習を行いました」という株式会社豊泉家所属の



記者・梅本 大地

稲田純フェローも長打で得点に繋がる活躍を見せ、3点を先取する好調な滑り出しとなりました。序盤から「コムレイズ勝利か!」という雰囲気の中、石黒メディカル株式会社チームも徐々に調子を上げ、毎回ピンチを凌ぐ展開のまま勢いを増し、最終回では3対4で石黒メディカル株式会社チームのサヨナラ勝ちを許す結果となりました。公式戦を前に、「勝利の瞬間まで気を緩めてはならない」ということを学ぶ良いきっかけとなりました。石黒メディカル株式会社の皆様をはじめ、試合にご参加いただきましたフェローや応援に来てくださったフェローの皆様、ありがとうございました。公式戦は緊急事態宣言発令に伴い、延期となっておりますが、来る公式戦の際には、この熱い試合を胸に、精一杯闘い抜いてまいります。



記者・梅本 大地

豊泉家のパン屋さん パン de Rainbow

今回豊泉家のパン屋さん「パン de Rainbow」の取材に行ってきました！普段は豊泉家ランドマークタワー1階でパン販売を行なっていますが、月2回大阪市内にある本部ビルに出張販売に来ていただいています。当日焼き立ての無添加パンはとて人気があり、豊泉家内だけではなく地域の方にも常連様がいるほどです！

事業内容は、製パンを主とした仕事を通じて、就労に必要な知識及び技術、能力の向上を図るとともに、社会参加の機会や働く喜び、仲間づくりから自己成長を感じていただけるよう支援しています。取材当日は、販売風景などを撮影させていただきながら、豊泉家チャレンジセンター豊中 佐野良兼キャプテンに、パートナー（JC利用者）の皆様の普段の様子を伺いました。

佐野：朝出勤して朝礼が始まるまでは和やかな雰囲気です。パートナー同士で談笑されていますが、仕事が始まると真剣な眼差しで作業に取り組み返して行なっていること、集中力が向上していること、感じています。パートナーもたくさんおられます。また、パートナー同士で当日の販売担当を相談して決めており、それぞれの役割を主体的に担っていただいています。

広報：目的を持って取り組むことで皆様の成長につながっているとのことでした。「パン de Rainbow」という新しい屋号となつて、これまで以上に、真剣に取り組まれているという皆様の姿がとても印象的です。



▲宇治抹茶メロンパン

▲宇治抹茶食パン

今回使用しているこだわり食材とは、今回使用されている有機宇治抹茶ペースト「ビヨンド抹茶 BEYOND MATCHA」は、有機宇治抹茶と水のみで製造されており、無添加無砂糖、無農薬の有機栽培で安全、健康、環境にも優しいヴィーガン認定（※）を受けている商品です。

※ヴィーガン認定：厳格な菜食主義団体 Vegan Society からある一定の基準を満たしている商品に対してのみ与えられる認定で、ベジタリアン（菜食主義者）の方でも安心して使用することが出来る商品のこと。



今回、9月1日（水）に新発売となった2種類の抹茶パンは「ビヨンド抹茶 BEYOND MATCHA」の有機宇治抹茶ペーストをふんだんに使用した商品となっています。今回なぜ抹茶の商品を販売することになったのでしょうか？

佐野：抹茶には、カテキンやテアニンのほかにもさまざまな栄養素が含まれ、疲労回復や風邪予防に重要な免疫力の強化、美肌にも欠かせない抗酸化作用など健康増進の効果があります。野菜よりも手軽かつ豊富にビタミン類を摂ることができるスーパーフードです。パン de Rainbow の無添加パンと抹茶パンで、「美味・多彩香・健康」をお届けしたいと思いい、商品化にいたしました。

最後に今後の展望などありましたら、教えてください。佐野：我々は、パートナーの皆様が地域で活躍できる喜びや働きがいを持って仕事をできるような支援し、ともに成長できるように取り組んでいます。使う素材にもこだわり、手作りでパンを作っています。おいしいパンをぜひご賞味ください。

今回の取材では実際に販売されているフェローとパートナーの様子も間近で見させていただきました。信頼関係の築かれたやりとりが随所にあり、パンのおいしさはお互いの信頼関係の深さに関係しているのではないかと感じました。今後もおいしいパンを楽しみにしております！取材当日、撮影にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

記者：広報戦略室 瀬戸根 将成

販売場所：
豊中市中桜塚3-2-1
豊泉家ランドマーク
タワー1階



CCRC豊泉家 芦屋山手 最新建設状況

豊泉家グループ初の大阪府外施設となる、兵庫県芦屋市に建設中のCCRC豊泉家 芦屋山手の（ナーシングホーム）豊泉家 芦屋山手（79床）が9月末の竣工に向け、着実に建設が進んでおり、ユニットケアの良さを十分活かせる造りとなつており、豊泉家3大ケア【認知症ケア】【医療的ケア】【終末期ケア】を中心に、皆様の尊厳を守るとともに充実した生活をお約束いたします。是非お楽しみに！

CCRC豊泉家 芦屋山手 〒659-0001 兵庫県芦屋市 剣谷9番1号

記者：豊泉家 芦屋山手 詳細は、CCRC豊泉家山手のQRコードを読み取り、特設サイトをご覧ください。



記者：広報戦略室 森永 真衣



豊泉家トピックス

ほうせんか新型コロナウイルス感染症病棟が取材を受けました。

新型コロナウイルス感染症の流行が第5波に突入し、これまでの型とは異なる、変異株（デルタ株）の流行と共に、さらなる流行拡大が発生しております。豊泉家グループ医療法人成和会 北大阪ほうせんか病院に設置しております【ほうせんか新型コロナウイルス感染症病棟（COVID-19 UNIT60）】においても急増する陽性患者の受け入れ、治療を進めており、その様子がNHKの報道番組の取材を受けました。

今後お取東の見えない感染症との闘いは続きます。立ち向かう使命感と挑戦する勇氣を持つて、取り組んでまいります。

記者：広報戦略室 森永 真衣



NHK NEWS WEB 関西 NEWS WEB

抗体カクテル療法「重症化防く期待」活用広げる取り組み

桃山台コミュニティが 高齢者住宅新聞に掲載されました。

9月1日発行、高齢者住宅新聞において、社会福祉法人福祥福祉会 運営本部 福井良幸運営本部長の取材記事が掲載されました。「自立と自由の家」をコンセプトとしているアシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台について、ご利用者の自由な暮らしの提供、アクティビティの参加など、日々を充実させる取り組みなどをお話しいただいております。豊泉家では、「介護施設に入ったから、自由がなくなつた。」ではなく、いつだって

アシステッドリビングホーム 豊泉家 桃山台 〒560-0085 大阪府豊中市 上新田3-10-36

記者：広報戦略室 森永 真衣

本日の意思 豊泉家